南相馬市立原町第二中学校　2014年度 学校経営ビジョン

【福島県教育委員会】～「重点施策」
【相双教育事務所】～「相双教育アピール」

【南相馬市教育委員会】～「基本目標」・「学校教育努力事項」

【目指す生徒像】
- 社会性を身につけた生徒
- 確かな学力のある生徒
- 健康で安全な生活をする生徒

【教育目標】一人ひとりが輝き、力強く前進し、活気あふれる学校に
～あいさつは　心の絆　あいさつで　心を磨く～
（１）　礼儀正しく思いやりのある生徒
（２）　自ら学び考える生徒
（３）　健康で体力のある生徒
【重点目標】「学んだことを活用し課題を解決しよう」

【目指す教師像】
- 生徒の力を引き出す教師
- 授業で生徒を引きつける教師
- きちんと叱り、きちんと褒める教師

【 学 校 経 営 の 方 針 】

○　生徒一人ひとりが輝き、確かな学力と豊かな心の育成に努める学校
○　教師自ら資質向上に努め、協働して教育目標の具現化を図る学校
○　学校事故防止に努め、生徒が安心・安全に楽しく生活できる学校
○　地域に根ざし、保護者や地域の期待と信頼に応えられる開かれた学校

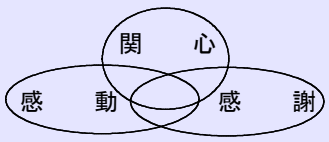
Ｐ→Ｄ→Ｃ→Ａサイクル　　Ｐ→Ｄ→Ｃ→Ａサイクル

○　社会性を身につけさせます	○　確かな学力の向上を図ります	○　健康で安全な生活を実践させます
①　道徳教育の充実に努め、思いやり向上心、責任、規範意識を持てる生徒の育成に努めます。 ・道徳の時間の工夫・改善 ・全教育活動での道徳教育実践 ・自己を振り返る時間の確保 ②　将来の生き方から、進路を選択できる力を育成する進路指導の充実に努めます。 ・体験活動、ガイダンスの充実 ・全教科における生き方の指導 ③　自己決定、自己存在感を持たせる生徒指導に努めます。 ・あいさつ、返事、後始末の励行 ・温かい雰囲気の学級づくり ・生徒活動の活性化及びリーダーの育成	①　新学習指導要領の趣旨を踏まえて確かな学力の向上に努めます。 ・活用する力の育成 ・思考力、判断力、表現力の育成 ・基礎的基本的な知識や技能の習得 ・主体的な学習活動の充実 ②　日々の授業の質的改善を図り、わかる授業づくりに努めます。 ・学び方の指導の工夫 ・ＰＤＣＡサイクルを生かした評価 ・個に応じた指導の充実 ・現職教育の研究の充実 ③　家庭学習の習慣化と読書活動の励行に努めます。 ・家庭学習のルール作りの指導 ・朝の読書活動の継続化と家庭における読書への奨励	①　健康に関心を持ち、主体的に健康な生活を営む能力や態度の育成に努めます。 ・生活リズムの定着化 ・健康学習の充実 ・食に関する指導、性に関する指導の充実 ②　自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できるよう安全教育の充実に努めます。 ・防災防犯教育の推進 ・交通教室、防災訓練の実施 ③　運動好きな生徒を育て、体力の向上に努めます。 ・新体力テストの活用 ・部活動の充実と参加意欲の高揚
【数値目標】 ○道徳の時間に学んだことを生活に生かしていると答える生徒が７割以上 ○体験学習に積極的に取り組む生徒が８割以上 ○将来の希望や目標をしっかり持っていると答える生徒が８割以上 ○あいさつ・返事・後始末を実行していると答える生徒が９割以上	**【数値目標】** ○学んだことを活用しようとしていると自己評価する生徒が７割以上 ○授業・学習内容が身についていると自己評価する生徒が８割以上 ○学習の仕方が分かり、熱心に継続した勉強ができる生徒が７割以上 ○家庭学習を毎日２時間以上する生徒が７割以上	**【数値目標】** ○基本的生活習慣（学習、食事、余暇就寝、起床等の時間）が身についている生徒が８割以上 ○健康や安全性における行動が自分でコントロールできる生徒が９割以上 ○新体力テストにおける数値の平均で全国平均を上回る種目５割以上

〈子どもの教育へのスローガン〉

◎　あいさつ
　　返　　事　　の励行
　　後 始 末

○　３つのカンを大切に



【家庭は，教育の基本の場】

★　子どもが中学生になったら、あらゆることにおいて子どもが自ら気づく場を設け、手を離しても心は離さないように保護者として努めましょう。

◎　我が子に対して誇りを持てる保護者になるには、
『　**マ**（マナー）・**モ**（モラル）・**ル**（ルール）　』を守る努力を！
1　礼儀やあいさつは、家庭教育の基本です
2　時間を守ることは、社会の基本ルールです
3　家庭学習の定着は、保護者の責任です
4　子どもの困りごとや悩みごとは学校に相談しよう
5　ＰＴＡ活動などに積極的に参加し、保護者としての責任を果たそう